

株式会社 岡村建設

代表者 岡村 良浩 資本金 5,000万円
 住 所 佐賀県神埼市脊振町広滝1425-2 設立年月 昭和26年6月
 連絡先 TEL 0952-59-2311 FAX 0952-59-2279 従業員 14人
 URL http://www.sakenkyo.or.jp



未利用バイオマス「もみ殻」を有効活用したサスティナブル・プロジェクト

土木工事業、舗装工事業、とび・土木工事業を中心に日々業務に励んでいます。新たな事業展開を模索する中で、バイオマス分野への進出を決定し、もみ殻を活用したプロジェクトに挑戦しました。稲作の副産物であるもみ殻は硬く、撥水性があり腐敗しにくいいため未処理のまま廃棄されています。もみ殻処理の課題を解決する加工機を導入し、固形燃料化及び培土として利活用する計画を立てました。、地球温暖化防止や持続可能(サスティナブル)社会の形成に貢献することを目標としています。



代表取締役
おかむら よしひろ
岡村 良浩



Q1. 御社について教えてください。

A. 昭和26年の創業以来、建設業を通じて地域社会の発展に貢献しています。

本事業への取り組みの経緯

近年の建設業界は公共事業や技術員の減少により厳しさを増しており、新たな事業展開が喫緊の課題となっています。当社では地球環境保全の重要性が高まっていることを受け、地域特性を生かした新規事業として、将来性が見込まれるバイオマス分野への進出を決意しました。コメ生産農家のもみ殻の処分に困っている、災害時に備えて備蓄燃料を導入する市町村が増えている、農作業の省力化や低コスト化を目指す動きなどを背景に、もみ殻を再利用した備蓄用・暖房用固形燃料とすり潰した籾殻の製造に取り組みました。



実施内容(取り組みの詳細)

稲作の副産物として発生する大量のもみ殻を特殊な加工機械を使って細かくすり潰し苗床用の培土として活用すると共に、その粉末を成形・固化して固形燃料を製造・販売する事業計画を立てました。乾燥もみ殻は共同乾燥調製施設に集積されているので収集の手間がかからない上、運搬には当社が保有する建設重機を利用できることで、導入費用を抑えることができました。稲刈りからもみ摺り後のもみ殻の収集・加工を土木建設業の閑散期前に行うことができるのも利点でした。硬く、撥水性があり腐敗しにくいもみ殻は再利用しにくいといわれますが、当社は硬い組織を破壊して吸水性や保水性を高め、すり潰されたもみ殻を圧縮・成形し固化する技術を持つ株式会社トロンソ製のグラインドミルを導入しました。試運転により、もみ殻を使用した固形燃料(モミガライト)とすり潰しもみ殻が加工品として製造可能であることを確認しました。



取り組み成果・波及効果

吸水性や保水性を高めた「すり潰しもみ殻」とそのもみ殻を固化し成形した固形燃料(モミガライト)の生産が可能となりました。すり潰しもみ殻は苗床用培土・家畜用敷料として需要が見込まれます。従来の水稻用培地より軽いいため農業者の労力軽減につながる上にすり潰す際の高熱は、雑草の発芽を抑制する効果があります。また、家畜用敷料として使用する際は硬い殻がすり潰されていて家畜に優しい点をアピールできます。一方のモミガライトは備蓄用燃料・暖房用燃料として需要が見込まれます。もみ殻100%の商品であり他の燃料と比較し環境に優しい点や、火持ちの良さ・長期保存ができる点などをアピールしていきたいと考えています。



Q2. 今後の課題はありますか？

A. 人材不足が一番の課題です。

Q3. 御社の社是は？

A. 人にやさしく、自然を大切に、地域に根差した人と自然のコミュニケーションづくり

Q4. 導入した機械の特徴は？

A. もみ殻の有効活用ができ、原料から1工程で製造可能な、汎用性のある機械です。



LOOK

今後の展望・活動予定

まずは地元の脊振町での普及浸透を図り、神崎市、周辺市町村、県内全域へと徐々に市場拡大していくことを計画しています。イベントでの実演会や共同乾燥施設と連携した普及会を開催し、認知度向上と口コミ効果を図ります。モミガライトの販売については、備蓄用燃料「いっとかん」(モミガライト、着火剤、トングなどのセット)を非常時の備えとして自治体へ提案しております。薪ストーブを利用する家庭や、ハウス栽培用の専用ボイラーを導入している農家に対しても積極的にアピールしていきたいと考えています。